

山の山頂付近の松林内のクモの巣に掛かっていたものである。この松林は、山頂付近の在来樹を松とヤマモモだけ残して切り払って、その後に桜など園芸樹を植えた直後であった。

2. オキナワムツボシタマムシ *Chrysobothris saliaris* Y. Kurosawa

1♀, 阿嘉島 (島尻郡座間味村), 22. V. 2014.

本種は、沖縄島、沖永良部島および伊平屋島に分布する原名亜種と石垣島、西表島に分布する別亜種 *C. s. yaeyamana* Y. Kurosawa が知られる。両者は上翅の縦隆条の強さと、6 紋型か 4 紋型かで区別されている。本個体は 6 紋型で上翅の縦隆条が基半部で微弱になることから、原名亜種に含められる。

細い立ち枯れ木の叩き網で獲られたもので、霧雨が降っていたため飛翔できずに網に落下したようである。

引用文献

大桃定洋・福富宏和, 2013. 日本産タマムシ大図鑑, 206 pp. むし社.

(楠井 善久 903-0805 那覇市首里鳥堀町 4-123-1 東苑荘 1-E)

【短報】佐渡島のゴミムシダマシ3種の記録

筆者は 2012 年 9 月に新潟県佐渡島を訪れた際、下記ゴミムシダマシ科甲虫 3 種を採集しているので報告する。これらは中條・馬場 1979, 楠井 1988, 益本 2007 ほかの文献においても佐渡島からの記録は見当たらず、同島初記録と思われる。

1. コブスジツノゴミムシダマシ *Boletoxenus bellicosus* (Lewis, 1894) (図1)

9♂6♀, 新潟県佐渡市真光寺, 16. IX. 2012.

直径 30 センチほどのかなり古いブナの倒木内部から得られた。

2. オオナガニジゴミムシダマシ *Ceropria sulcifrons* Harold, 1878 (図2)

1♂, 新潟県佐渡市金井新保, 15. IX. 2012, 5♂1♀, 同, 16. IX. 2012.

3. コツヤホソゴミムシダマシ *Menepphilus lucens* Marseul, 1876 (図3)

1♀, 新潟県佐渡市金井新保, 15. IX. 2012, 1♂. 同, 16. IX. 2012.

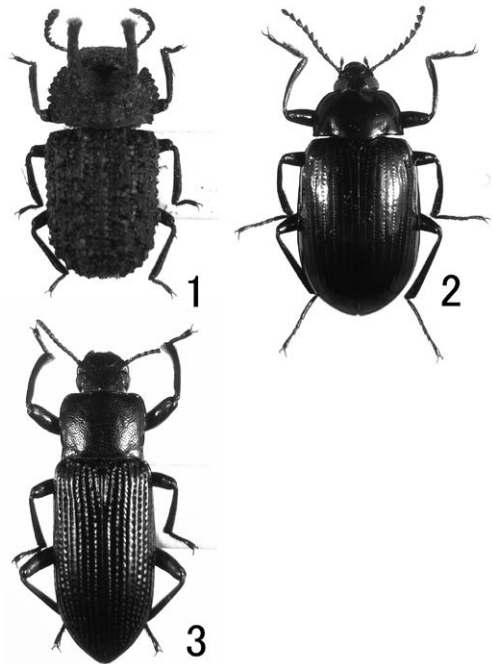


図1-3. 佐渡島産ゴミムシダマシ. 1, コブスジツノゴミムシダマシ♂; 2, オオナガニジゴミムシダマシ♂; 3, コツヤホソゴミムシダマシ♂.

2 および 3 の両種とも主に夜間、クヌギの洞付近で活動中のものを採集した。同所ではナガニジゴミムシダマシ *Ceropria induta induta* (Wiedemann, 1819), クロツヤキノコゴミムシダマシ *Platydemia nigroaeneum* Motschulsky, 1861, ルリゴミムシダマシ *Derosphaerus subviolaceus* (Motschulsky, 1860), ニジゴミムシダマシ *Tetraphyllus paykullii paykullii* (Dalman, 1823) などゴミムシダマシ科甲虫が多数見られた。

末筆ながら、いろいろとご教示を賜った近藤茂昭氏、文献をご提供いただいた楠井善久氏に厚くお礼申し上げます。

引用文献

中條道崇・馬場金太郎, 1979. 新潟県のゴミムシダマシ科甲虫, 新潟県の昆虫 (越佐昆虫同好会々報 50 号慶祝論文集), 49-63.

楠井善久, 1988. 新潟県頸城地方および佐渡島におけるゴミムシダマシ科の採集記録. 越佐昆虫同好会々報, 66: 23-26.

益本仁雄, 2007. ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae. 森本 桂 (監修), 新訂原色昆虫大図鑑第 II 卷 (甲虫篇), 260-277. 北隆館, 東京.

(須田 亨 372-0006 伊勢崎市太田町 770-4)